

## 〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

9月報

### インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 26件（前月比1.7、前年同月比-）でした。令和3年9月から令和4年7月にかけては、0~2件/月で推移していました。しかしながら、発生数は、8月15件、9月26件と連続して増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。

### 小児科定点

（全体傾向）

1,863件（前月比1.53、前年同月比0.62）でした。前年同月比は低下しています。前年同月比の低下は手足口病402件（前月比2.5、前年同月比0.3）、RSウイルス感染症129件（前月比2.0、前年同月比0.5）が主体となっています。一方、前月比は上昇しており、ヘルパンギーナ141件（前月比3.0、前年同月比1.4）、手足口病402件（前月比2.5、前年同月比0.3）、RSウイルス感染症129件（前月比2.0、前年同月比0.5）、インフルエンザ26件（前月比1.7、前年同月比-）が主体となっています。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症： 129件（前月比2.0、前年同月比0.5）でした。前年同月比は0.5であり、昨年と同時期よりは低下していますが、発生数は7月から連続して増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。人吉（8.33）、水俣（7.50）が特に高くなっています。
2. 咽頭結膜熱： 14件（前月比0.7、前年同月比0.3）でした。前月比、前年同月比ともに低下しています。特に、前年同月比は0.3と著しく低下しています。本年度は7月をピークとして、以後は連続して低下しています。
3. A群溶連菌咽頭炎： 26件（前月比1.2、前年同月比0.9）でした。本年度は大きな変動を認めず、例年より低い値で推移しています。
4. 感染性胃腸炎： 805件（前月比1.3、前年同月比1.1）でした。前月比が上昇しています。菊池（37.20）、有明（33.80）、御船（23.67）、山鹿（20.00）が特に高くなっています。
5. 水痘： 7件（前月比0.4、前年同月比0.4）でした。前月比、前年同月比ともに低下しています。例年より低い値で推移しています。
6. 手足口病： 402件（前月比2.5、前年同月比0.3）でした。前月比は2.5と著しく上昇しています。しかしながら前年同月比は低下しており、今年度は昨年より低い値で推移しています。菊池（34.40）が特に高くなっています。
7. 伝染性紅斑： 3件（前月比0.4、前年同月比1.5）でした。低い値で推移しています。
8. 突発性発疹： 129件（前月比1.3、前年同月比0.9）でした。例年と大きな変動はなく推移しています。
9. ヘルパンギーナ： 141件（前月比3.0、前年同月比1.4）でした。前月比、前年同月比ともに上昇しています。菊池（10.60）、天草（10.25）が特に高くなっています。
10. 流行性耳下腺炎： 6件（前月比3.0、前年同月比0.4）でした。例年並みに、低い値で推移しています。

## 眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 11 件（熊本 8 件、菊池・有明・天草各 1 件）で前月比、前年同月比とも半減しています。20 歳台および 40 歳台にピークが見られますが、10 歳代、50 歳代、70 歳以上にも散発しています。9 歳以下の発症はありません。

## STD定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：  
報告数92件（前月比1.3、前年同月比1.4）で、前月比・前年同月比共に増加しています。男女別では男性が61件で、女性は31件でした。年齢別では男性が15～64歳と幅広い年齢層に、女性は15～49歳にみられています。地区別は熊本が71件と圧倒的に多く、宇城が8件、有明6件、御船と八代が共に3件、菊池が1件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：  
報告数 15 件（前月比 0.7、前年同月比 0.7）で、前月比・前年同月比共に減少しています。男女別では男性が 9 件、女性が 6 件でした。年齢別では男女共に 20～70 歳以上と幅広い年齢層にみられています。地区別は熊本が 7 件、宇城と菊池が共に 3 件、八代が 2 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：  
報告数は 6 件（前月比 1.0、前年同月比 1.0）で、前月比・前年同月比共に増減無しでした。男女別では男女共に 3 件で、年齢別では男性は 20 歳～34 歳に、女性は 25 歳～54 歳にみられています。地区別では熊本が 3 件、御船が 2 件、菊池が 1 件でした。
4. 淋菌感染症：  
報告数は31件（前月比1.3、前年同月比1.6）で、前月比・前年同月比共に増加を示しています。男女別では男性が28件で、女性は3件でした。年齢別では男性が15歳～64歳に、女性は15歳～44歳にみられています。地区別は熊本が22件で、宇城が6件で、八代・有明・御船が各々1件でした。

## 基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：  
報告数は16件（前月比0.7、前年同月比1.3、男女比13:3）と減少傾向でした。熊本8件、有明4件、山鹿・人吉は各2件でした。年齢分布としては70歳以上9件、65-69歳2件、0歳・40-44歳・45-49歳・55-59歳・60-64歳各1件と高齢者に多く認められました。  
▼例年並みの報告数でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：  
報告数は4件（前月比1.3、前年同月比1.0、男女比1:3）と増加傾向でした。熊本4件でした。年齢分布としては1-4歳2件、0歳・25-29歳各1件と比較的若年者に多く認められました。  
▼例年に比べて多く、増加傾向にあります。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：  
報告数は0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎：0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数でした。
2. 無菌性髄膜炎：0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼例年に比べて少ない報告数でした。
3. マイコプラズマ肺炎：0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数でした。
4. クラミジア肺炎：0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼昨年度に引き続き報告がありません。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：0件（前月比-、前年同月比-）で報告はありませんでした。  
▼例年並みの報告数でした。

## 届け出対象感染症

1類感染症：報告はありませんでした。	
2類感染症：結核	18件
3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症	4件
4類感染症：レジオネラ症	3件
日本紅斑熱	3件
5類感染症：ウイルス性肝炎	1件
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
後天性免疫不全症候群	1件
侵襲性肺炎球菌感染症	1件
播種性クリプトコックス症	2件
梅毒	16件
百日咳	2件
新型インフルエンザ等感染症：	
新型コロナウイルス感染症	44,056件